

科学研究費助成事業 研究成果報告書

平成 26 年 6 月 16 日現在

機関番号：35412

研究種目：基盤研究(C)

研究期間：2011～2013

課題番号：23531097

研究課題名(和文) 幼児教育における造形表現プログラムの開発と実践 フランスにおける事例とその応用

研究課題名(英文) Development and Practice of a Plastic Art Expression Program in Early Childhood Education - The Example and Application in France -

研究代表者

小笠原文(Ogasawara, Fumi)

広島文化学園大学・学芸学部・准教授

研究者番号：10585269

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 3,800,000円、(間接経費) 1,140,000円

研究成果の概要(和文)：フランス南西部、アーキテーヌ州ペリグー市にあるサン・フロン小学校で行われた「他者理解」「共存の精神」の獲得を目的として行われた幼児造形表現プログラム：『弱視・盲目の子どものために、クラスで絵本を制作する』(サン・フロン・プロジェクト：2006 - 2007)を一つの事例として本プロジェクトを、日本でも実施し、それらを国際的連携・比較のなかで検証・評価し、幼児教育における造形教育(表現活動)の新たな可能性を示唆した。

研究成果の概要(英文)：I took a part in a plastic art expression program at an elementary school in France (Ecole Saint Front, Perigueux-city, Aquitaine State, Southwest France, 2006-2007). The purpose of this program was to create a touchable picture book for children with limited eyesight and blindness and to also increase students' abilities to understand one another and to coexist together. As a part of this project, I compared and evaluated the results from field studies conducted both in Japan and in international organizations. As a result of this project research, it is my intention to propose a new possibility in early childhood plastic art education.

研究分野：教育学

科研費の分科・細目：基盤研究(C)

キーワード：触れる絵本 造形プログラム フランス幼児教育

1. 研究開始当初の背景

フランス現代美術の特徴として、色彩学の第一人者 J.Ph. ランクロ (元パリ国立装飾美術学校教授) が指摘するように、技術よりも「何を伝えるために」「なぜ」「どのように」と試行錯誤する行為が重要視され、それが現代フランス幼児教育界の泰斗、M. ソエタル (アンジェ・カトリック大学名誉教授) が述べるように、近年、幼児教育の現場 (幼稚園、小学校準備級) でも重視され実践されている。具体的には「芸術表現」の授業を、技術や装飾、色彩的な完成度を持つ個人的な「作品制作」よりも、クラス全体で「考え」「検討し」「一つの目的に向かって実現する」ための時間と捉えられているのである。特に「幼少連携期 (幼稚園と小学校との接続期)」の「幼児・児童」が注目されるのは、この期の児童はそれまで各家庭で「個人」として比較的勝手気ままな「身体的感情表現やジェスチャー」で伝えていた段階から、「集団」生活の一員としての「自己」を造形的に色や線、形で表現をする、一種の「移行期」の段階における表現、コミュニケーションを必要として、そのための学習・練習のための「造形表現」の教育が重要とされるからである。

私は、2006 年から 1 年間、フランスでこのような教育理念を持つプロジェクトの一つ (サン・フロン・プロジェクト:「弱視・盲目の子ども達のためにクラスで絵本を制作する」) に参画し、「触れる絵本」の制作に関わった。本プロジェクトは、特に幼児教育の中でも、芸術 (表現活動) 教育と障害児教育を結合させるフランス教育特有の手法であるが、今日この手法は、健常児のための他者理解、コミュニケーション能力育成の手法としてヨーロッパ諸国を中心に注目されている。

この「健常児のための他者理解、コミュニケーション能力育成の手法」に着目した理由は、我が国における障害児教育 (保育) 問題の現状にある。具体的に、我が国では、平成 17 年 4 月に発達障害者支援法が制定された。既存の障害者福祉制度ではサポートしきれず、その気付きや対応に遅れがちであった「自閉症」「アスペルガー症候群」「LD (学習障害)」「ADHD (注意欠陥多動性障害)」など、いわゆる発達障害者についての法的な支援を定めたものである。平成 19 年度から「特別支援教育」が始まったが、これについては、障害児と健常児の分離が進み、さらには障害児が保育所や幼稚園・小学校から排除される傾向にあると懸念する声もあがっていた。一方で、国際的な流れとして、平成 18 年 12 月に国連総会で「障害者の権利に関する条約」が採択された。その中では「障害のある者となない者が共に学ぶことを通して、共生社会の実現に貢献しよう」といういわゆる「インクルーシブ教育

(包括的教育)」の考え方が示されている。日本でも同条約の批准に向けて、平成 23 年 8 月に障害者基本法が改正され、「可能な限り障害者である児童および生徒が障害者でない児童および生徒と共に教育を受けられるように配慮」とされた。これらを受けて、中央教育審議会では特別支援教育のあり方について、報告書をまとめた。そこでは「特別支援学校と幼・小・中・高校、あるいは特別支援学級と通常の学級間での交流及び共同学習をいっそう進める」とされている。平成 19 年の特別支援教育開始時には「完全な分離にならないように付加的に行われているだけ」という批判を受けた「交流および共同学習」であるが、それについては、「いっそう進める」という記述に留まり、その具体的な内容については触れられていない。つまり、「受け入れるが、その方策は未定」という状態である。このように教育・保育の現場において、「受け入れる」側と「受け入れられる」側双方にとって多くの課題を抱える障害児教育 (保育) 問題は、その解決方法が求められている分野である。

この分野について、本プロジェクトの「造形による自己表現」「造形による他者理解」から示唆を得ることが可能であると考えた。本プロジェクトを日本で実施し、それらを国際的連携・比較のなかで検証・評価し、幼児教育における造形教育 (表現活動) の新たな地平を拓くという試みである。

2. 研究の目的

本研究は、フランス現代美術の影響を強く受けている幼年時教育における造形表現の具体的実践としてのプロジェクト (サン・フロン・プロジェクト)、すなわち、クラス全体で『触れる絵本』の制作をおこなう実践活動を事例に、最初期 (幼稚園とそれに接続する幼児学級) の集団生活における自己表現能力と他者理解並びにコミュニケーション能力を培うことを目標とする幼児教育における造形表現プログラムの開発と実践、並びにその検証を目的とする。

3. 研究の方法

日本語広島版「クラスで絵本を制作する」プロジェクトを以下の方法で行う。

初年 (平成 23 年) 度は学校法人広島文化学園「子ども・子育て支援研究センター」施設と本学の造形表現実習室を活用して実施する。具体的には、2011 年 10 月から週一回、土曜日の午後、10 名の幼児・児童と同数の保護者を含む形態 (20 名) で、共同

で「触れる絵本」を制作し、本研究を実施し、公表し、造形カリキュラムを検討する。さらに、広島文化学園大学学芸学部子ども学科1年生70名を対象とし、図画工作の授業時間を用いて「触れる絵本」制作プログラムを実施し、検証材料とする。

平成24年度は

- (1)前期において、本学「子ども・子育て支援研究センター」で前年と同様のプログラムを同様の規模で実施する。
- (2)後期では、本研究をさらに学術的に深化、検証するために実際の保育施設（社会福祉法人 愛児福祉会 なかよし保育園）で本プログラムを実践し、学術研究機関（幼年教育研究施設）の評価・検証を受ける。尚、における「触れる絵本」制作のモデルとしては、拙著「Mon Cai llou」（邦題：みどりのこいし）を日本語版に改訂し、使用する。のなかよし保育園の実践においては「ちいさなオキクルミ」（著：松谷みよ子、絵：西山三郎、ぽるぷ出版）を使用する。
- (3)呉市子育て支援プログラムにて、現職の保育士・幼稚園教諭を対象として、本プログラムを実施し、検証材料とする。

25年度は本研究の「まとめ」として、

- (1)国立民族学博物館、准教授、広瀬浩二郎氏を招聘し、ワークショップおよび講演会を開催することによりプロジェクトを考察・検証する。
- (2)大学美術教育学会で本研究についての口頭発表を行い、考察を深める。
- (3)さらに、フランスにて非営利団体「夢見る指先（Les Doigts Qui Révent）」主催のワークショップに参加し、日本での実践を報告、問題の検証を行う。
- (4)アンジェ・カトリック大学、名誉教授でフランス幼児教育の第一人者 M.ソエタール（Michel So tard）氏のゼミナールにて日本での実践報告とその検証および国際的な展開の可能性を追求する。

4. 研究成果

フランス南西部、アーキテーヌ州ペリグー市にあるサン・フロン小学校で行われた「他者理解」「共存の精神」の獲得を目的として行われた幼児造形表現プログラム：『弱視・盲目の子どものために、クラスで絵本を制作する』（サン・フロン・プロジェクト：2006-2007）を一つの事例として本プロジェクトを、日本でも実施し、それらを国際的連携・比較のなかで検証・評価し、幼児教育における造形教育（表現活動）の新たな可能性を示唆した。

具体的な成果としては（1）大学生（広島文化学園大学学芸学部子ども学科1年生70名：平成23年度）によるプロジェクトの再現・検証（2）幼稚園教諭・保育士を対象としたワークショップ内でのプロジ

エクトの応用実践・検証（平成23-24年 呉市子育て支援プログラム研修会）（3）保育園（愛児福祉会なかよし保育園：広島市西区：年長児24名）を対象としたプロジェクトの応用実践・検証（4）国立民族学博物館、准教授、広瀬浩二郎氏を招聘し、ワークショップおよび講演会を開催（平成25年7月）することによりプロジェクトを考察・検証（5）フランス・ディジョン市にある「障害の有無を超えて、全ての子ども達のための触れる絵本を制作する」非営利団体「夢見る指先（Les Doigts Qui Révent）」（219タイトル、多言語による34714冊のアルバムを制作）主催のワークショップに参加し、日本での実践を報告、問題の検証。（6）アンジェ・カトリック大学、名誉教授でフランス幼児教育の第一人者（フレーベル研究・ペスタロッチー研究・フレネ研究で多くの業績と国際的な評価を持つ）M.ソエタール（Michel So tard）氏のゼミナールにて日本での実践報告とその検証および国際的な展開の可能性を追求、以上の6点に集約される。

（3）と（4）に関しては、広島 RCC 『ニュース6』（2013年7月23日放送）および関西テレビ 『スーパーニュースアンカー』（2013年10月11日放送）関西テレビ 『世界に触れ！-見える人にこそ伝えたい-』（2013年9月15日放送）においても取り上げられ、その成果を社会に発信することができた。他の項目についても、広島文化学園大学学芸学部紀要（創刊号&第4号）および広島文化学園大学子ども子育て支援研究センター年報（第4号）でその成果を報告し、大学美術教育学会（2013年京都大会：京都教育大学開催）にて、口頭発表を行った。

5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕（計5件）

▶2012年

小笠原文、「保育士・幼稚園教諭養成課程における授業『造形表現』の展開」
広島文化学園大学学芸学部紀要、89-98頁、査読有、第2号、2012、3月

▶2013年

小笠原文、「原初的なもの」を通して子どもに伝えられるもの - フランスの造形表現教育の実践を例に -、広島文化学園大学学芸学部子ども学論集、55-67頁、査読有、創刊号、2013、4月

小笠原文、狩谷美穂、「アートであそぼう！ - 障害児を理解するために - 呉市子育て支援プログラムにおける実践からの考察、子ど

も・子育て支援研究センター年報,査読有,
19-31 頁,第 3 号,2013,12 月

小笠原文,“触覚”から考える造形表現 -
二つのワークショップ実践からの考察-, 広
島文化学園大学学芸学部紀要, 19-28 頁,
査読有,第 4 号,2014,3 月

小笠原文,「原初的なもの」が示唆する造
形業現教育の可能性-フランス原始美術か
らの考察-, 大学美術教育学会「美術教育学
研究」,69-76 頁,査読有,第 46 号,2014,
3 月

〔学会発表〕(計 1 件)

▶2013 年

小笠原文,「触れる絵本」制作についての一
考察~フランス初等教育の造形プログラム
を例に~

第 52 回大学美術教育学会,京都大会(京都
教育大学)2013 年 10 月 12・13 日

〔図書〕(計 1 件)

▶2012 年

小笠原文,「子どもの心に語りかける表現教
育」,鈴木幹雄(編)「フランスの初等教育
における今日の表現教育 - 視覚にたよらな
い「触る絵本」の存在を体験し、制作する
-」,第 12 章,152~161 頁,あいり出版,
2012,3 月

6. 研究組織

(1) 研究代表者

小笠原文

(広島文化学園大学学芸学部 子ども学科
准教授)

研究者番号: 10585269